

交通情報を聞く

1 オーディオメニュー(P.44) から **交通情報** を選ぶ

2 **1620kHz / 1629kHz** を選ぶ
[お買い上げ時の設定: 1 620 kHz]

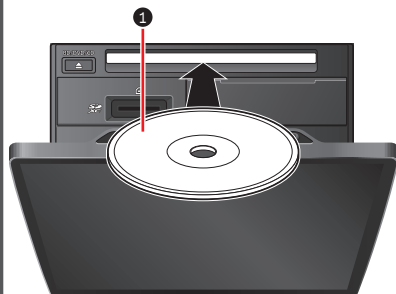
お知らせ

- オーディオチューンでビット・周波数拡張の設定がONになっている場合、オーディオを交通情報に切り換えると、設定はOFFになります。

ディスクを再生する

ディスクを挿入する

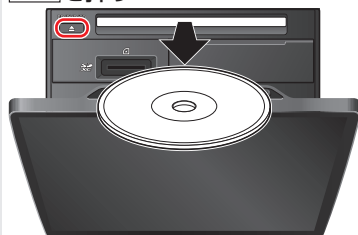
1 ディスプレイを十分に倒して、ディスクを挿入する



① ラベル面を上

取り出すには

ディスプレイを十分に倒して、**▲**を押す



- ディスクが排出されます。
- 録音中などは、ディスクの排出までに時間がかかる場合があります。

2 ディスプレイを起こす

お願い

- ディスクを取り出すときは、必ず停車してください。
道の起伏(砂利道など)で振動していると、排出されない場合があります。
- 必ずディスプレイを十分に倒してから、ディスクを挿抜してください。
ディスプレイの倒しかたが不十分な場合、ディスクが排出されません。

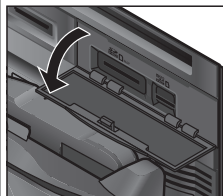
- 必ずディスプレイを本体の正面に戻してから、倒してください。(カチッという音が正面の目安になります。)戻しかたが不十分な場合、ディスプレイを十分に倒せなかったり、可動部に負荷がかかって破損する原因となります。

microSDメモリーカードを挿入する(FIX10BD)

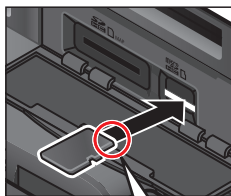
BDMVには、ローカルストレージにディスクの付加情報を保存して、再生時に利用することができるものがあります。

- 本機で使えるmicroSDメモリーカードについては、(P.121)をご覧ください。
- 挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- 正常に動作しないときは、再度カードを抜き差ししてください。
または、microSDメモリーカードを、本機のSDメモリーカード挿入口に挿入し、SDカードの初期化(P.92)を行ってください。このとき、SDカードアダプターが必要です。

1 ディスプレイを十分に倒して、ふたを開く

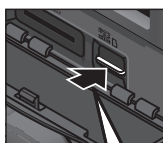


2 microSDメモリーカードを奥までまっすぐに挿入する

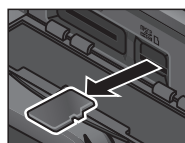


角がカットされた側を右にして、カチッと音がするまで差し込みます。

取り出すには

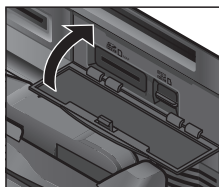


中央部を押す



取り出す

3 ふたを閉じてから、ディスプレイを起こす



お願い

- 必ずSD挿入口のふたを閉じてから、ディスプレイを起こしてください。
ふたが開いたままディスプレイを起こすと、ふたが破損するおそれがあります。

BDMV・BD-RE・AVCHD・AVCRECを再生する(FIX1080)

- 本機で再生できるディスクについて(P.118)
- ディスクによっては、パスワード入力をしていないと再生できないよう設定されている場合があります。パスワード確認入力画面が表示された場合は、パスワードを入力してください。
- 2枚以上セットになっているBDMVは、1枚目を見終わってディスクを取り出したあと、次のディスクを挿入するよう指示する表示が出たままになる場合があります。
- ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、が表示されます。

再生する

ディスクを挿入し、オーディオメニュー(P.44)から **Blu-ray Disc** を選ぶ

再生操作タッチキーを表示する

Blu-ray Disc再生中に画面をタッチする



- 1 設定を変える
- 2 タッチキーを消去

トップメニューを表示する

BDMV **AVCHD**

トップメニューを選ぶ

ポップアップメニューを表示する

BDMV

ポップアップメニューを選ぶ

タイトルリスト/プレイリストを表示する **BD-RE** **AVCREC**

タイトル / プレイリストを選ぶ

一時停止する

再生中に **II** を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を開始します。

停止する

再生中に **■** を選ぶ



- **II** を選ぶと、停止した位置から再生を開始します。(リジューム再生)
- **続き再生解除**: リジューム再生開始位置の情報を解除(P.54)
- BD-Jはリジューム再生非対応です。

タッチキーの位置を切り換える

ボタン移動 を選ぶ

- タッチするごとに切り換わります。



ディスクによっては、メニューなどを直接タッチして操作できません。カーソル・カラーボタン・10キーで項目を選んでください。

カーソルで操作する

▲ ▼ ◀ ▶ でカーソルを移動し、**実行**を選ぶ



色や10キーで選ぶ

1 色/10キーを選ぶ

2 カラーボタン/10キーで項目を選ぶ



- **ボタン移動**: タッチキーを上下に移動
- **ボタン消**: タッチキー消去

早送り・早戻しする

◀▶ をタッチし続ける
● 離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生する

一時停止中 (P.52) に ▶▶ をタッチし続ける
● 離すと、通常の再生に戻ります。

チャプターを頭出しする

◀▶ をタッチする

各種切替タッチキーを表示する

各種切替 を選ぶ



1 タッチキーを消去

再生時間を表示する

タイム を選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
再生経過時間→タイトル/チャプター→表示なし→(再生経過時間に戻る)

音声を切り換える

音声 を選ぶ

- 選ぶごとに、音声切り換わります。

主音声/副音声を切り換える

[BDAV] [AVCREC]

主/副 を選ぶ

- 選ぶごとに、主音声/副音声切り換わります。

字幕を切り換える・消去する

[BDMV] [AVCHD]

1 字幕を選ぶ

2 字幕を切り換える

字幕切替 を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕言語切り換わります。

字幕を表示する/消去する

字幕ON/OFF を選ぶ

- 選ぶごとに、表示/消去切り換わります。

字幕スタイルを切り換える[BDMV]

スタイル切換を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕スタイルが切り換わります。

アングルを切り換える

[BDMV] [BD-AV] [AVCREC]

アングルを選ぶ

- 選ぶごとに、アングルが切り換わります。

タイトル/チャプターを選ぶ

1 サーチを選ぶ

2 番号を入力し、実行を選ぶ

- 切換：タイトル/チャプターを切り換え
- 修正：全文字削除

副映像を切り換える[BDMV]

1 副映像を選ぶ

2 副映像を切り換える

映像切換を選ぶ

- 選ぶごとに、副映像が切り換わります。

副映像を消去する

映像ON/OFFを選ぶ

副映像用音声を切り換える

音声切換を選ぶ

- 選ぶごとに、副映像用音声が切り換わります。

副映像用音声を消去する

音声ON/OFFを選ぶ

トップメニューからもとの再生に戻る(リジューム)[BDMV]*¹[AVCHD]

リジュームを選ぶ

* 1 BD-Jは非対応です。

DVD-Video・DVD-VRを再生する

- 本機で再生できるディスクについて(P.118)
- ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、⓪が表示されます。

再生する

ディスクを挿入し、オーディオメニュー(P.44)からDVDを選ぶ

基本操作タッチキー 1 を表示する

DVD再生中に[MENU]を押す



① タッチキーを消去

タイトルメニューを表示する

[DVD-Video]

タイトルを選ぶ

トップメニューを表示する[DVD-Video]

メニューを選ぶ

タイトルリストを表示する[DVD-VR]

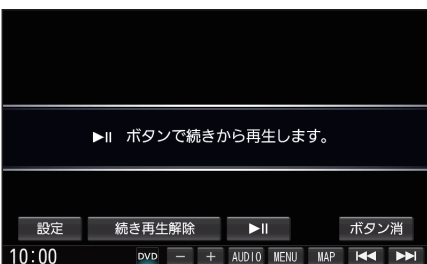
タイトルを選ぶ

プレイリストを表示する[DVD-VR]

メニューを選ぶ

停止

再生中に **■** を選ぶ



- **▶II** を選ぶと、停止した位置から再生を開始します。(リジューム再生)
- **続き再生解除**：リジューム再生開始位置の情報を解除

一時停止する

再生中に **▶II** を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を開始します。

音声を切り換える

音声 を選ぶ

- 選ぶごとに、音声が変わります。

字幕を切り換える [DVD-Video]

字幕 を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕が変わります。

字幕を消去する [DVD-VR]

字幕 を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕の表示/非表示が切り換わります。

画像を切り換える [DVD-VR]

ページ送り を選ぶ

- 選ぶごとに、次の画像に切り換わります。

アングルを切り換える [DVD-Video]

アングル を選ぶ

- 選ぶごとに、アングルが切り換わります。

トップメニュー/タイトルメニューから
もとの再生に戻る(リジューム) [DVD-Video]

リジューム を選ぶ

基本操作タッチキー2を表示する

基本操作タッチキー1から **次へ** を選ぶ



- ① 設定を変える
- ② タッチキーを消去

再生時間を表示する

タイム を選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
再生経過時間→タイトル/チャプター→表示なし→(再生経過時間に戻る)

メニューなどをカーソルで操作する

1 操作を選ぶ

2 ▲ ▼ ◀ ▶ でカーソルを移動し、実行を選ぶ



- **ボタン移動**：タッチキーを左右に移動
- **ボタン消**：タッチキー消去
- **DVD-Video**は、トップメニュー/タイトルメニューの画面を直接タッチして操作できます。(ダイレクトタッチ)

1つ前の画面に戻る

リターンを選ぶ

項目を番号で選ぶ

1 **10キー**を選ぶ**2** 10キーで番号を入力する

- ボタン移動: タッチキーを上下に移動
- ボタン消: タッチキー消去

タイトル/チャプターを番号で選ぶ(サーチ)

1 **サーチ**を選ぶ**2** **切換**で、サーチの対象を選ぶ

- 選ぶごとに、タイトル/チャプターが切り換わります。

3 番号を入力し、**実行**を選ぶ

- 入力したタイトル/チャプターの先頭から再生を開始します。

項目を決定する

エンターを選ぶ

早送り・早戻しする

- ⏮ ⏭**をタッチし続ける
- 離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生する

一時停止中 (P.55) に **⏮ ⏭** をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- **⏮**: [DVD-Video]のみ

チャプターを頭出しする

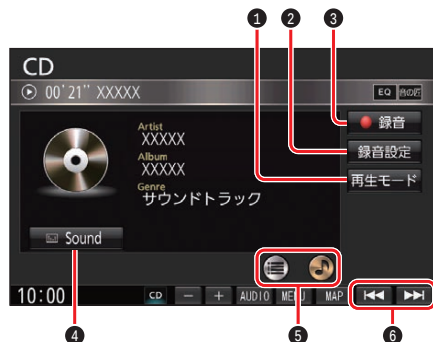
⏮ ⏭をタッチする

音楽CD (CD-DA) を再生する

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、**AUDIO**を押してください。

- 本機で再生できるディスクについて (P.118)

音楽CD再生画面



- 1 再生モードの切り換え
- 2 録音設定 (P.60)
- 3 録音の開始・停止 (P.60)
- 4 オーディオチューン
- 5 表示内容の切り換え
- 6 早送り・早戻し／曲の頭出し

表示内容を切り換える

再生中の表示内容を切り換えます。

- **🎵**: 再生中の曲の情報を表示
- **📀**: 曲のリストを表示
 - 曲を選べると、再生を開始します。

早送り・早戻しする

- ⏮ ⏭**をタッチし続ける
- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲を頭出しする

⏮ ⏭をタッチする

再生モード

リピート/ランダム/スキャン再生を切り換えます。

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
再度選ぶと、通常再生になります。

繰り返し再生(リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(ランダム)

ランダムを選ぶ

- 全曲を順不同に再生します。

曲を探す(スキャン)

スキャンを選ぶ

- 全曲を約10秒ずつ再生します。

お知らせ

- 録音中は、リストからの選曲、再生モードの切り換え、早送り・早戻し、曲の頭出しはできません。
- タイトル、Artist、Album、Genreの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。(走行中は操作できません。)

音楽CDのタイトル表示について

音楽CDを挿入すると、本機内の音楽データベース*1(以降Gracenote®データベース)を検索し、情報があれば、アルバム名・曲名などを表示します。

- CD-TEXT情報がある場合は、CD-TEXT情報が優先的に表示されます。
- 本機のGracenoteデータベースに一致する情報がないときは、タイトル情報は表示されません。異なるタイトル情報を表示する場合もあります。
- タイトルを表示して再生するまで、しばらく時間がかかる場合があります。

*1 Gracenote 音楽認識サービスのデータベースの抜粋

MP3/WMAを再生する

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、**AUDIO**を押してください。

- 本機で再生できるディスクについて (P.118)
- データ作成時の留意点について (P.122)

MP3/WMA再生画面



- 1 オーディオチューン
- 2 フォルダの選択
- 3 表示内容の切り換え
- 4 早送り・早戻し/曲の頭出し
- 5 再生モードの切り換え

表示内容を切り換える

再生中の表示内容を切り換えます。

🎵: 再生中の曲の情報を表示

📀: 曲のリストを表示

- 曲を選ぶと、再生を開始します。

早送り・早戻しする

⏮ ⏭ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲を頭出しする

⏮ ⏭ をタッチする

オーディオ

再生モード

リピート/ランダム/スキャン再生を切り換えます。

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。

繰り返し再生 (リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
リピートトラック→リピートフォルダ→通常再生→(リピートトラックに戻る)

順不同に再生 (ランダム)

ランダムを選ぶ

- 再生中のリストの中から順不同に再生します。
- 再度選ぶと、通常再生になります。

曲を探す (スキャン)

スキャンを選ぶ

- 再生中のリストの中の全曲を約10秒ずつ再生します。
- 再度選ぶと、通常再生になります。

フォルダを選ぶ

フォルダ $\ominus$ /フォルダ $\oplus$ を選ぶ

- 選んだフォルダ内の先頭の曲から再生を開始します。

お知らせ

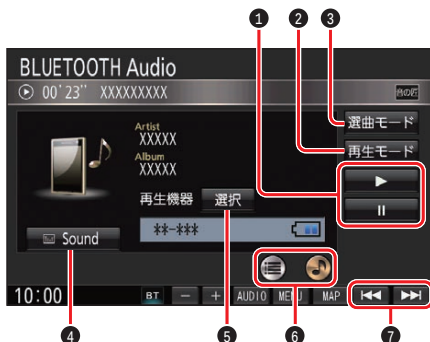
- タイトル、Artist、Album、Folderの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。(走行中は操作できません。)

BLUETOOTH Audioを再生する

準備

- BLUETOOTH対応機器を本機に登録してください。(P.73)

BLUETOOTH Audio再生画面



- 1 再生/一時停止
- 2 再生モードの切り換え
- 3 選曲モードの選択
- 4 オーディオチューン
- 5 登録機器の選択 (P.75)
- 6 表示内容の切り換え
- 7 早送り・早戻し/曲の頭出し

再生する

オーディオメニュー (P.44) から **BLUETOOTH Audio** を選ぶ

表示内容を切り換える

再生中の表示内容を切り換えます。

: 再生中の曲の情報を表示

: 曲のリストを表示

- 曲を選ぶと、再生を開始します。

早送り・早戻しする

をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲を頭出しする

をタッチする

再生モード

リピート/ランダム再生を切り換えます。

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。

再度選ぶと、通常再生になります。

緑り返し再生 (リピート)

リピート を選ぶ

- 再生中の曲を緑り返し再生します。

順不同に再生 (ランダム)

ランダム を選ぶ

- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

一時停止する

再生中に を選ぶ

- を選ぶと、再生を開始します。

お知らせ

- タイトル、Artist、Albumの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。(走行中は操作できません。)
- 接続機器や接続状態によって、下記のようなことが発生する場合があります。
 - 音声出力や画面表示に時間がかかる。
 - 音楽プレーヤーを起動する必要がある。
 - 音楽プレーヤー再生中でないと正しく操作できない。
 - 画面表示が更新されない。
 - タイトル、Artist、Albumが表示されない。
 - ナビゲーションから操作できない。(その場合は、接続機器で操作してください。)
- スマートフォンを接続し、複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなかったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、BLUETOOTH Audioに切り換える前にすべてのアプリを終了して、BLUETOOTH Audioを接続しなおしてください。
- 接続機器や本機との接続状況によっては、BLUETOOTH Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。(例: iPhoneにて、ケーブル接続している場合)
- Android Auto 接続している場合は、BLUETOOTH Audioは利用できません。

SDメモリーカードに音楽CDを録音する

音楽CDをSDメモリーカードに録音し、再生することができます。
録音した音楽データを再生するときは、(P.62)をご覧ください。

録音に関する設定をする

1 オーディオメニュー(P.18)から、**CD**を選ぶ

2 **録音設定**を選ぶ

3 録音に関する設定をする



録音管理

- **自動録音** [お買い上げ時の設定]
録音していないCDを、自動的にすべて録音
- **手動録音**
曲を選んで録音

音質

◀/▶で音質を選ぶ

[お買い上げ時の設定: 256 kbps]

- 録音曲数の目安*1
 - 320 kbps: 約 1 748曲
 - 256 kbps: 約 2 185曲
 - 192 kbps: 約 2 913曲
 - 128 kbps: 約 4 369曲
 - 96 kbps: 約 5 825曲

4 **戻る**を選ぶ

* 1 空き容量が16 GBのSDHCメモリーカードに、4分程度の曲を録音した場合(ファイル管理上は、最大10 000曲/10 000アルバムまで保存できます。)

録音する

準備

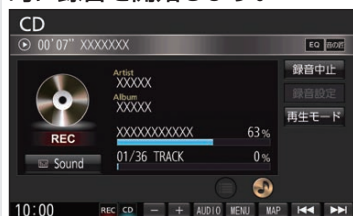
- 本機で初期化したSDメモリーカード(P.99)を挿入してください。(P.65)

1 音楽CDを挿入する(P.50)

2 録音方法を選ぶ

録音設定が「自動録音」の場合

音楽CDの再生とともに、自動的に録音を開始します。



録音設定が「手動録音」の場合

■ 全曲を録音する場合

1 CD再生画面(P.56)から
録音 ▶ 全曲録音を選ぶ

2 **録音開始**を選ぶ

- 未録音の曲をすべて録音します。

■ 選んだ曲を録音する場合

1 CD再生画面(P.56)から
録音 ▶ 選択曲録音を選ぶ

2 リストから曲を選び、**決定**を選ぶ

- 選んだ項目には、チェックマーク(✓)が付きます。なお、すでに録音済みの曲にはチェックマーク(✓)が付いています。

3 **録音開始**を選ぶ

録音を停止するには

録音中画面から、**録音中止**を選ぶ

お願い

- SDメモリーカードの「RECAUDIO」フォルダの内容を、変更・削除しないでください。録音したデータが正しく再生されない場合があります。

音楽CDの録音について

- 1曲でも録音済みの曲がある場合は、録音設定にかかわらずその音楽CDの自動録音は行いません。録音を開始するには、手動録音の全曲録音(P.60)を行ってください。
- 録音中にCD以外のオーディオ、Drive P@ssやAUDIO OFFに切り換えても録音は継続されます。
- CD以外のオーディオに切り換えた状態で録音しているときは、音楽CD再生の音声は聞こえません。
- アルバム/曲の情報は、本機のGracenoteデータベースから検索したタイトル情報が付与されます。
- タイトル情報が付与されない(本機のGracenoteデータベースにない)場合は、タイトルを手動で編集できます。また、パソコンの専用アプリ「Title Finder」を使用してインターネット経由で取得(P.64)することができます。
- 録音は本機で再生できる市販の音楽CDのみ可能です。
 - ・MP3/WMAファイルのあるCDは録音できません。
- 本機はギャップレス録音(曲と曲の間の無音部分が無いCDを再生しても音が途切れないよう録音する機能)に対応しています。ギャップレス録音するには、音楽CDの全曲を一度にまとめて録音してください。複数回に分けて録音すると、ギャップレス録音できません。
- 録音した曲は本機のMEMORY MUSICソースでのみ再生できます。本機のSDソースでは再生できません。
- 録音したものは、オリジナルと音質が異なる場合や、ノイズが発生する場合があります。ご容赦ください。
- 高温時は、録音できない場合があります。
- 録音済みの曲は、録音の音質を変更しても、重複して録音できません。

- 本機の故障、誤動作または不具合により記録できなかったデータ(録音内容など)、消失したデータ、SDカード内の保存データについては補償できません。
- 本機で録音した音楽データは、本機のみで再生可能な音楽データのため、本機以外の機器(パソコンなど)では再生できません。

- dts-CDは録音できません。
- 音楽CDの記録面のキズ、汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。
- 録音中にキースイッチ(電源ポジション)を切り替えたり、本機に振動や衝撃を加えたりすると録音したデータの消失・故障の原因となるおそれがあります。

お願い

- 録音中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

音楽CD録音時の制限について

- 本機の動作が遅くなる場合があります。
- 録音中に車のACCをOFFにすると、録音は停止されます。録音を停止された曲のデータは破棄されます。「自動録音」に設定している場合は、次回車のACCをONにすると、停止した曲から録音を再開します。
- 録音中は音楽CDに対して下記の操作ができません。^{*1}
 - ・頭出し
 - ・再生モード(リピート/ランダム/スキャン)の切り換え
 - ・早送り/早戻し
 - ・タイトル情報検索のための音楽情報の出力と更新
 - ・録音設定
- 連続複製防止システム(SCMS)の信号が付与された曲はCD-Rなどからは、録音できません。

*1 録音終了時点で再生されている曲が終わるまで、早送り/早戻し、再生モード(リピート/ランダム/スキャン)の切り換えなどの操作はできません。